

2022年5月吉日

株式会社プラットフォーム

**放送でのノウハウを生かし、成長するデジタルサイネージの運用業務を開始****業界最大の展示会「デジタルサイネージジャパン2022」出展**

株式会社プラットイーズ（東京都港区浜松町1-7-3 代表取締役社長：瀧 一郎）のグループ会社である株式会社プラットフォーム（東京都江東区東陽7-5-8 代表取締役社長：村松 俊昭）は、デジタルサイネージの運用業務のアウトソース受託拡大をにらみ「デジタルサイネージ ジャパン2022」（以下DSJ2022、6月15日～17日・幕張メッセ）に初めてブースを出展します。

プラットフォームはプラットイーズから分社する以前を含め衛星放送、ケーブルテレビ向けの放送準備業務のアウトソース受託を20年以上にわたって手掛け、近年はIP同時再送信サービスの運用、監視業務も強化しています。これらの業務で蓄積したノウハウは、メディアとして成長が著しいデジタルサイネージでも活用することができ、昨年度より首都圏大手電鉄企業が手掛ける駅構内サイネージなどの運用業務を受託しています。

サイネージ運用業務は配信内容の考査から編成管理、素材変換、放映システム登録、監視、報告など一連の内容が放送・配信準備業務と相似性を有しており、プラットフォームの工程別業務アウトソースのフローに組み込みやすくなっています。媒体ごとに異なる運用システムも同社東陽町の業務センターに集約し、運用人員を最適化しつつ業務遂行することで、広域展開で複雑化するサイネージ媒体も効率的に運用することが可能です。

運用業務が負担となっているサイネージ媒体運営者やメディアレップに、業務の効率化やコスト面でメリットを提供できるほか、放送・配信業務で既に提供している24時間365日対応オプションと組み合わせることで、多様化していく広告露出需要に柔軟に対応する体制を確保できます。

放送・配信型メディア広告の視聴が個人所有のデバイスや視聴スタイルで細分化していく中で、マスが屋外や鉄道などの公共空間で目にするサイネージ広告は今後も進化し運用需要も予想されることから、プラットフォームではDSJ2022への出展を通じ、同社の特長をアピールして参ります。

**■ 本件に関するお問い合わせ**

株式会社プラットフォーム

オペレーション営業部 曾山（そやま）

Tel. : 050-3538-1820

E-Mail : sales@plat.works